

災害のときに 高速道路が果たす役割は?

高速道路の仕事

交通に関する仕事

防災に関する仕事



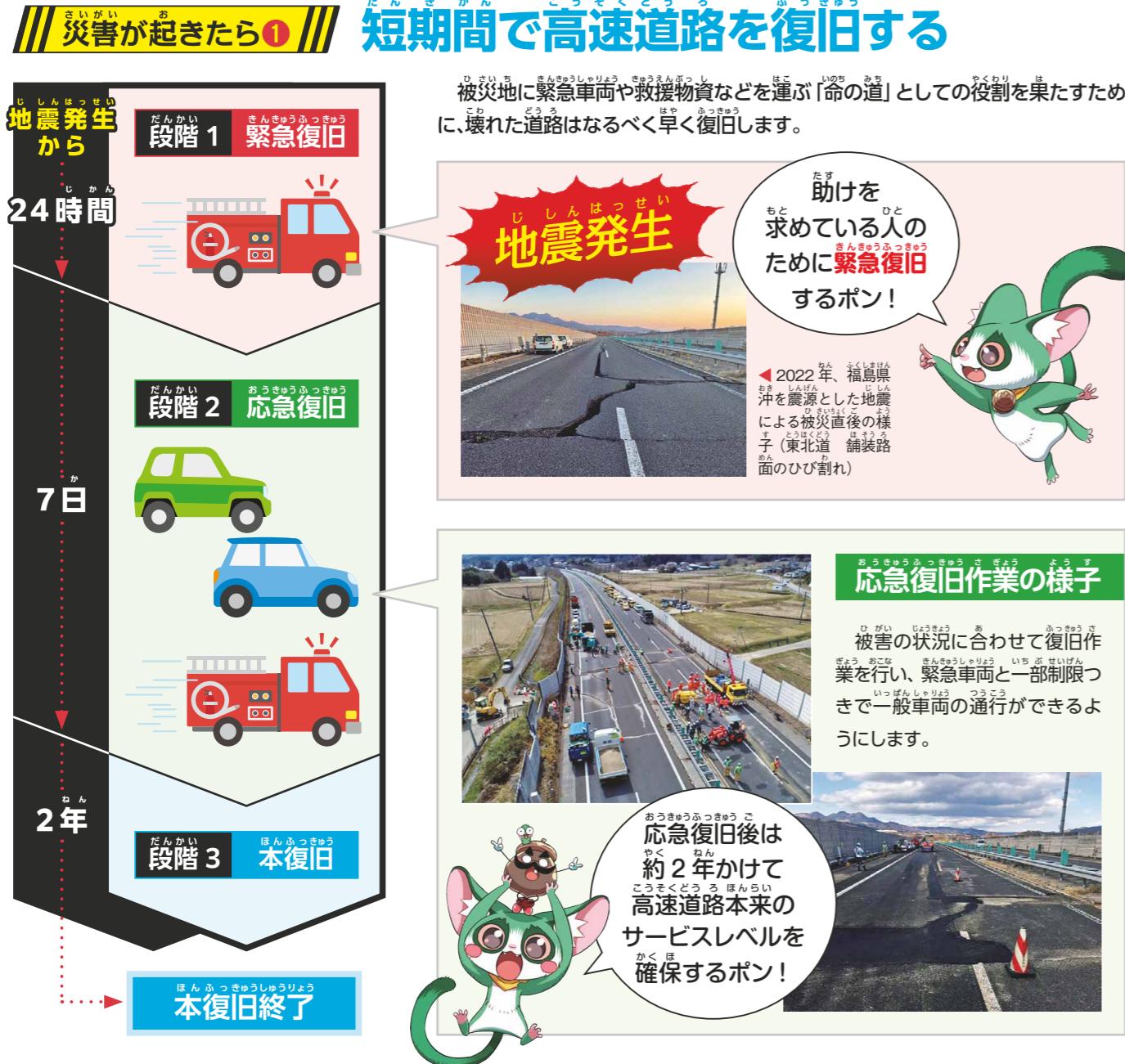
東日本高速道路
株式会社
<https://www.e-nexco.co.jp/>



地震や台風といった大きな自然災害が起きたときに、
高速道路はどのような役割を果たすのでしょうか?
その役割と取り組みについてNEXCO東日本に教えてもらいました。

※NEXCO東日本は、東日本高速道路株式会社の愛称。

A 高速道路は「命の道」として被災地の復旧・支援を支え、
サービスエリアは災害応急活動の拠点になるよ。



災害が起きたら② サービスエリアが防災拠点になる

大規模災害が発生すると、高速道路の一部のサービスエリアを消防・救急医療・自衛隊の災害派遣などに防災拠点として提供し、活動を支援します。防災拠点となるサービスエリアには、緊急開口部(緊急時に消防車などが一般道路から高速道路に入れるようになっている部分)や、ヘリポートなどの機能が整備されていて、日ごろから災害に備えて訓練もしています。

ふだんはフードコート



災害が発生すると!



災害時は防災拠点本部に!

いつもの
サービスエリアが、
防災の拠点になる
なんてびっくり!



ヘリポート



ヘリポートには夜間照明やヘリ事務室を設置して、夜間でも安全に離着陸できる。

ほかにも
停電したときに備えての
自家発電機能や、
断水に備えて井戸などを設置しているのじゃ!



緊急開口部



万が一のために、緊急車両の出入り口が確保されている。

高速道路が被災地の“命”を救う!

答えてくれた人
NEXCO東日本 管理事業本部
防災・危機管理チーム 尾関 淳さん

災害時には、一分一秒でも早く被災地に支援を届けることが命を救うために重要です。そのためNEXCO東日本では「命の道」である高速道路をより早く復旧させるべく、日ごろから災害に備えた強い道路づくりや、早期復旧に向けた訓練を行っています。

